

2021 年度 第 1 学期 教養教育		日英区分: 日本語
口腔内科学 Periodontal/Oral Medicine		
■ 講義番号	■ 科目区分	■ 学期
919046	教養教育科目	第 1 学期
■ ナンバリングコード	■ 教室	
NDGIQLAFZ4—N	コミュニケーションスペース	
■ 必修・選択の別		
選択必修		
■ 単位数	■ 曜日・時限	
1	木3～4	
■ 担当教員 (ローマ字表記)		
高柴 正悟 [TAKASHIBA Shogo]		

SDGs関連項目



■ 対象学生

全 歯を除く

■ 他学部学生の履修の可否

対象学生の項目を参照

■ 連絡先

電話番号 086-235-6675

Eメールアドレス stakashi@okayama-u.ac.jp

■ オフィスアワー

月曜日8:30-9:00 火曜日17:00-17:30 木曜日8:30-9:00 (いずれも、岡山大学病院 中央診療棟 4F 歯周病態学分野)

なお、変更がしばしばありますので、事前にe-mailで連絡があると助かります！ 本学の公用mail addressを使用して下さい。さもないと迷惑メールとして分類されて対応出来ないことがあります。）

■ 学部・研究科独自の項目

関連しない

■ 使用言語

学生により日本語又は英語

■ 授業の概要

以下を一般教養の範囲で

- ・口腔科学と全身の科学との関係を、主に感染症、慢性炎症、および免疫疾患の観点から概説する。
- ・「口腔内科」の発展的・学際的な考え方を理解させるとともに「個体医療」の概念を教示する。

■ 学習目的

健康長寿社会の達成のため、個人レベルから集団レベルで必要なものを考察し実行する自立した個人を形成すること

■ 到達目標

以下を一般教養の範囲で

一般目標(GIO): 種々の疾患は個体毎に異なる病態を持つことを診断して治療・管理を行う すなわち, “個体医療”の概念に基づいて治療を実践するために, 口腔科学と全身の科学との関係 を, 主に感染症, 慢性炎症, および免疫疾患の観点から捉え, 「口腔内科」の発展的・学際 的な考え方を理解する。

■ 授業計画

注意：

COVID-19対策のため、非常勤講師による講義を含めて、予定を変更する場合があります。

1回目 4月15日 (3-4限)

口腔内科学の概説

歯周内科学の概説

口腔科学から隣接科学への貢献と影響 / 高柴教授

★ 小テスト (moodle)

2回目 4月22日 ★注意 :4限目のみ、1-3限は小児歯科学分野の特別講義)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

糖尿病外来 / 大森講師

★ 小テスト (moodle)

3回目 4月30日 (3-4限) ★注意 :金曜日だが木曜日の授業を行う)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

これからの歯科医療が目指すべき方向性 / 山本准教授

★ 小テスト (moodle)

4回目 5月6日 ★注意 :1-4限, オンラインでなければ場所は後日に連絡)

特別Online講義 非常勤講師, 高柴教授

8:40 - 10:00 栗原英見 名誉教授 (広島大)

10:10 - 11:30 吉村篤利 教授 (長崎大)

12:30 - 13:50 佐藤 聡 教授 (歯大新潟)

(講義テーマは、後日に掲載します。)

5回目 5月13日 (3-4限)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

病院内の歯科・易感染宿主や有病者との関わり / 伊東有助教

★ 小テスト (moodle)

6回目 5月20日 ★注意 :4限目のみ、1-3限は小児歯科学分野の特別講義)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

妊婦外来 / 大森講師

★ 小テスト (moodle)

7回目 5月27日 (3-4限)

全身疾患の口腔への影響・口腔疾患の全身への影響

院内連携と地域連携での口腔科 / 平井助教

★ 小テスト (moodle)

■ 授業時間外の学習(予習・復習)方法(成績評価への反映についても含む)

過去の講義資料の一部を事前に見ておくこと。以下のリンクからアクセス。パスワードは、ps6675。 <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~perio/bind21/lectures.html>
の 口腔内科学

■ 授業形態

(1)授業形態-全授業時間に対する[講義形式]:[講義形式以外]の実施割合

80% : 20%

(2)授業全体中のアクティブ・ラーニング

協働的活動(ペア・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなど)

やや少ない

対話的活動(教員からの問いかけ、質疑応答など)

やや少ない

思考活動(クリティカル・シンキングの実行、問いを立てるなど)

やや多い

理解の確認・促進(問題演習、小テスト、小レポート、授業の振り返りなど)

多い

(3)授業形態-実践型科目タイプ

該当しない

(4)授業形態-履修者への連絡事項

★ 新型コロナウイルス対策後の日程変更によって講義回数が減少したので、毎回の講義後に小テストを課すことになりました。岡山大学moodleを使用して実施します。毎回のレポートと合わせて皆さんの理解度を判定します。(必ず事前に相談してください。試験形態を調整します。)

研究室のHPでの予習・復習を含みます。

特別な配慮を必要とする場合は、事前にご相談ください。

■ 使用メディア・機器・人的支援の活用

視聴覚メディア(PowerPointのスライド、CD、DVDなど)

多い

学習管理システム(Moodleなど)

多い

人的支援(ゲストスピーカー、TA、ボランティアなど)

やや多い

履修者への連絡事項

プリント(PDF)、スライド、ビデオ、Internet等を使用します。もちろん、ICTも。板書もあり。

履修者への連絡事項:

日英の言語を含むスライドを使用しますので、配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。
板書もありますので、配慮が必要な場合は履修登録する前に担当教員に相談して下さい。

■ 教科書

教科書1	ISBN	481601182X		
	書名	歯周病と7つの病気：8つのNEWS		
	著者名	吉江弘正, 高柴正悟編著		
	出版社	永末書店	出版年	2007
教科書2	ISBN	9784862270160		
	書名	人は口から古い口で逝く 認知症も肺炎も口腔から		
	著者名	落合邦康		
	出版社	日本プランニングセンター	出版年	2021

備考

岡山大学生協取り扱い教科書の購入方法は、教科書情報"Text-it" (テキストイト)

<https://okadai.text.univ-coop.net/>でご確認下さい。

■ 参考書等

参考書1	ISBN	978-4-263-44469-6		
	書名	歯周病と全身の健康 ⅡSP Evidence Report on Periodontal Disease and Systemic Health, 2015		
	著者名	日本歯周病学会編		
	出版社	医歯薬出版	出版年	2016
参考書2	ISBN	4023318752		
	書名	続・日本人はこうして歯を失っていく: 専門医が教える全身の健康につながる歯周病予防		
	著者名	日本歯周病学会, 日本臨床歯周病学会著		
	出版社	朝日新聞出版	出版年	2020

備考

「歯周病と全身の健康」は、無料資料として、PDFをダウンロード可能

http://www.perio.jp/publication/upload_file/guideline_perio_body.pdf

■ 成績評価の方法

★ 新型コロナウイルス対策後の日程変更によって講義回数が減少したので、毎回の講義後に小テストを課すことになりました。岡山大学moodleを使用して実施します。毎回のレポートと合わせて皆さんの理解度を判定します。(必ず事前に相談してください。試験形態を調整します。)

(旧:毎回講義内容とその感想をレポートにして提出してもらうことによって授業に対する姿勢とともに個人の知識や思考能力を評価する。また、講義内容に関する筆記試験(単に知識を求めるものではないことに注意)を行う。試験80点、レポート20点。)

受講要件

自己学習の能力と動機
自分で何か新しい情報を入手する能力
異なる世代のあなたの意見を説明する論理的なステートメントの能力

教職課程該当科目

該当なし

JABEEとの関連

(e)種々の科学、技術及び情報を活用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
(f)論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
(g)自主的、継続的に学習する能力
(h)与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

SDGs関連項目

(保健)あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
(持続可能な都市)包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

実務経験のある教員による授業科目

該当する

歯周病と全身疾患の関連性についての研究を行っている。特に歯周炎と糖尿病の相互関係を分子生物学的に解明すること、ならびに歯周炎が易感染性宿主に与える影響について解析している。歯科におけるこの分野の重要性は近年急速に高まっており、研究内容は講義に取り入れている。

担当教員は、歯科医師であり、Periodontal Medicineの研究と臨床実践を行っています。

備考/履修上の注意

本科目は、開講学部以外の学生が履修した場合、教養教育科目あるいは他学部の専門教育科目として取り扱う専門教育科目です。